



日本海洋学会秋季大会シンポジウム

沿岸の水産・海洋学に関わる大学教育の在り方

水産・海洋系の大学では
どんなことが学べるの？

それぞれの大学の特色は？

大学間の交流はあるの？
(授業、学会、大学院進学、乗船実習など)

卒業生の進路は？
(民間企業、公務員、大学院など)

2016.9.11(日) 12:10-16:20

[会場] 鹿児島大学郡元キャンパス
〒890-8580 鹿児島市郡元1丁目21番24号
共通教育棟1号館2階121号講義室

主催：
日本海洋学会沿岸海洋研究部会・日本海洋学会教育問題研究会
コンビナー：

梅澤有(長崎大)・福田秀樹(東京大)・小針統(鹿児島大)

問い合わせ先：

長崎大学水産学部 梅澤 有
omezawa@nagasaki-u.ac.jp, 095-819-2849

プログラム

12:10 - 12:15 会長挨拶： 門谷 茂(北海道大学 大学院水産科学研究院)
12:15 - 12:30 趣旨説明：
水産・海洋系学部・大学院の学生動向、教育の現状と連携の必要性
梅澤 有(長崎大)・福田秀樹(東大)・小針統(鹿児島大)

第一部：大学教育の現状と取り組み 座長：梅澤 有(長崎大学 水産学部)

12:30 - 12:55 愛媛大学の地域と連携した海洋教育について
吉江直樹(愛媛大学CMES)
12:55 - 13:20 東海大学における海洋教育と独自の資格—海洋環境士—
齋田 邦夫(東海大学海洋学部)
13:20 - 13:45 「水圏環境リテラシープログラム」の成果と課題
佐々木 剛(東京海洋大学 海洋科学部)

13:45 - 14:10 東京大学における海洋キャリアパス形成と人材育成のための
研究科横断型 教育プログラム
木村伸吾(東京大学 大学院新領域創成科学研究科 / 大気海洋研究所)

14:10 - 14:35 水産実験所における実習の高度化に向けて
～「教育関係共同利用拠点」と「水産海洋実践教育ネットワーク」～
征矢野 清(長崎大学 海洋未来イノベーション機構)

(14:35-14:45 休憩)

第二部：高校の取り組みと企業の求める人材 座長：福田 秀樹(東大 大気海洋研)

14:45 - 15:10 水産高校としての教育の現状と大学への期待
川添博・二宮充久・福島聡(鹿児島水産高校)
15:10 - 15:35 沿岸海洋関連の実務において期待される応用研究
—研究の高度化と総合化を目指して— 柴木秀之(株式会社エコー)
15:35 - 16:00 大学院博士課程・ポスドクから地方公設試へのキャリアパス
山根広大(岩手県水産技術センター)
16:00 - 16:10 海の出前授業：日本海洋学会講師派遣事業の紹介
上野洋路(北海道大学 大学院水産科学研究院)

16:10 - 16:20 総合討論

会場100名
入場
無料



プログラムのウェブサイト



第5回COSIA(海洋科学コミュニケーション実践講座)
体験ワークショップも開催されます。

会場：共通教育棟1号館3階 132号講義室

プログラム

16:30 - 16:35 趣旨説明 市川洋(教育問題研究会)
16:35 - 17:55 プレゼンテーションおよび参加体験型学習活動の体験
「学習者に伝わる流れに配慮した学習プログラムとは。」
体験型学習プログラムから考える。」
講師：都築章子(海の自然史研究所)、今宮則子(海の自然史研究所)

17:55 - 18:00 閉会挨拶 今宮則子(海の自然史研究所)

本体験ワークショップは定員30名です。
詳細と事前登録は、日本海洋学会教育問題研究会のウェブサイト
(<http://www.jos-edu.com/COSIA.html>)を参照してください。

